

1. 実施内容

活動名	屋外公共空間で人がつながるエリマネに向けた街路イベントの実証実験
主催者	番九クリスマスマルシェ実行委員会
実施場所(エリア)	<p>住所:千代田区三番町12 大妻女子大学</p> <p style="text-align: right;">@ OpenStreetMap contributors</p> <p style="text-align: center;">図 実施場所</p>
活動の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスマルシェを定例の催しとして定着をはかるとともに、地域内の街路や公開空地を子ども・多世代が屋外に出て楽しむ場へと変えていく。 ・地域内の人や団体の横のゆるやかな連携を広げ、ゆくゆくは地域の屋外公共空間での都市生活のQOL向上をはかるエリアマネジメント体制構築（協議会・準備会）へのきっかけとする。
地域が抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地域は高層マンションの開発が立て続けにあり、子どもの人口も増えているが、十分な遊び場がないという声が子育て世帯の保護者から寄せられている。一方、総合設計制度等で形成される公開空地等は十分にそれが都市の屋外空間の生活の向上に寄与していないという質の問題がある。 ・IT化が進む一方で屋内での閉じた生活により人の分断を増長し、地域のコミュニティが希薄化することが懸念されている。地域のコミュニティが希薄化することで、子どもの成長、緊急時の対応など、地域の将来の継続性にも不安を残す。
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回番九クリスマスマルシェを実施することで、スクリーンタイムからグリーンタイムへと、子どもから高齢者までが緑豊かな屋外で憩い楽しめる環境を形成する。 ・企画、準備する過程で、地域内のステークホルダーの団体やキーパーソンとの丁寧なコミュニケーション・プロセスを設けることで、運営のネットワークを形成する。そのための勉強会や小さなワークショップを重ねて本番の催し（マルシェ）の開催につなげる。

■実施内容

○番九クリスマスマルシェ

<遊びの広場>

イベント	担当者
木工作 (小さい子でもできる木のスプーンづくりや木の遊び)	Tree to Green
移動式遊び場 (プレーカーとプレーワーカーが来て、様々な遊び道具、材料で子どもたちが自然と遊び出す)	まちのこ団
書道パフォーマンス (大きな白い紙に子どもたちが思い思いに絵を描き、その上で書道部の学生が音楽に合わせて舞いながら大きな字でメッセージを描く)	大妻女子大学書道部
みんなで踊ろう (誰もが簡単に踊れる、振り付けにあわせてみんなで踊る楽しいひととき)	エスコートダンス協会
太鼓演奏 (和太鼓の演奏パフォーマンス)	英国大使館太鼓部

<マルシェ>

出店内容	担当者
出張DJブースで音楽を流す	DJ キッズ
ユニフォームや靴などリサイクル販売 (収益を途上国支援に活用)	FC 千代田
能登のお店 (能登の産物の販売で能登の被災地支援)	株式会社エンナカ (大学の地域連携制度を活用して穴水町が支援)
キッズサンタマーケット (子どもたちが考えた企画のマーケット)	近隣に住む子どもとその親 (大学近辺に居住するママ友ネットワーク)
デジタルサイネージ (入り口にマルシェの内容をタイムリーにディスプレイに掲示)	東京ケーブルネットワーク
こども体力測定 (子どもがゲーム感覚で体力を知る)	Earth
キッチンカー① (トニーローマ提供のピザなどイタリアン)	アクロテーブル
キッチンカー② (ローストチキンやチキンライス、カレー、ドリンク)	アラウンド
キッチンカー③ (障害者就労施設で提供するホットドッグやスープなど)	ジョブサポート千代田
肉巻きおにぎり	大妻女子大学かるたサークル
甘酒配布	磯山ゼミ+木下ゼミ

	インタラクティブデジタルゲーム	磯山ゼミ
	ビンゴやエコバッグづくり	木下ゼミ
	シュートレンやクリスマス飾り販売	実行委員会
	○コミュニケーション・プロセス	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 番九クリスマスマルシェ実行委員会 ・ エリマネ勉強会+エリアマネジメントガイドラインの作成 	

実施体制	【主催】番九クリスマスマルシェ実行委員会	
	加藤 碧衣(実行委員長)、直井 彩音(副実行委員長)、 磯山 直也(副実行委員長/委員長代理)、木下 勇(副実行委員長/委員長代理) 山森 彩香(事務局長)、矢野 周子(監事)、中村 由紀(監事)、久保 健太、 川島 朋恵、東 綾香	
	【協力(地域との合意形成)】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上村 友子(三番町町会長)、小野里 耕作(九段二丁目町会長)、 橋本 樹宜(九段二丁目町会副会長) 	
	【協賛・協力(取組みの企画・準備・実施)】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ (株)東京ケーブルネットワーク、アクロテール(トニーローマ)、 FC 千代田、アラウンド、ジョブサポート千代田、キッズサンタマーケット、 DJ キッズ 	
	企画・準備段階の主催者内の役割分担	
	加藤 碧衣(実行委員長)	全体の統括と、大学サークル・クラブの参加団体勧誘・調整
	直井 彩音(副実行委員長)	大学の地域連携プロジェクト代表、大学の事務との調整
	磯山 直也 (副実行委員長/委員長代理)	道路占用許可手続き、道路使用許可手続き、みち活勉強会の企画、講師依頼調整、町会等地元連絡調整
木下勇 (副実行委員長/委員長代理)	広報周知、参加団体呼びかけ調整	
山森 彩香(事務局長)	学生参加団体呼びかけ等支援・相談役	
川島 朋恵(前実行委員長)	HP 作成、運営	
東 綾香		
当日のスタッフ配置当日		
加藤 碧衣(実行委員長)	全体の統括、進行	
直井 彩音(副実行委員長)		
磯山 直也 (副実行委員長/委員長代理)	全体の進行のフォロー	
木下勇 (副実行委員長/委員長代理)	本部受付	
山森 彩香(事務局長)	本部受付フォロー、全体進行フォロー	
久保健太	児童学科学生調整、子ども対応	

	川島 朋恵(前実行委員長)	全体進行補佐
	東京ケーブルネットワーク	デジタルサイネージ
・安全管理のため、道路の両サイドに警備員(委託)を配置		

2. 活動内容

活動の 進め方	企画 段階	5月 番九クリスマスマルシェ実行委員会(今年度企画検討) 6月 千代田区と協議
	準備 段階	<p>7月16日 第1回エリマネ勉強会</p> <p>「生活道路を車から人へ、公開空地为屋外公共生活空間に」 講師 久保健太(大妻女子大学児童学科講師)、嶋村仁志(Tokyo Play 代表)</p> <p>7月20日 第2回エリマネ勉強会</p> <p>大妻みちあそび開催時に隣接地にて展示。地域の街路や公開空地への意見聴取ワークショップ。</p> <p>9月27日 第3回エリマネ勉強会 + 第1回番九クリスマスマルシェ実行委員会</p> <p><u><エリマネ勉強会></u> 「大丸有のエリアマネジメントに学ぶ」 講師：岸井 隆幸 氏 (NPO 法人大丸有エリアマネジメント協会 理事長)</p> <p><u><番九クリスマスマルシェ実行委員会></u> 企画内容、準備、参加団体呼びかけなど協議</p> <p>10月8日 第4回エリマネ勉強会 (ウォーカブルなまちづくりミニシンポジウム)</p> <p><u><神田淡路町ワテラスのエリアマネジメント></u> スピーカー：下山 青葉氏 安田不動産資産営業事業本部資産営業第二部第一課</p> <p><u><パネルトーク></u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・千代田区景観・都市計画課 藤本係長 ウォーカブルなまちづくりとエリアマネジメント ・三番町町会町会長 上村友子 ワテラスの取り組みの報告からの感想とウォーカブルなまちづくり実証実験の取り組みをして ・九段二丁目町会副町会長兼青少年部長 橋本樹宜 感想と町会での道を使った催し ・富士見小地域コーディネーター 坂口次郎 ウォーカブル実証実験での小学校前の道の構想 ・東京都市大学准教授 中島伸 千代田区のウォーカブルなまちづくりに詳しい都市デザイナーによるウォーカブルなまちづくりの意義や展開について <p><u><フリーディスカッション></u></p> <p><u><まとめ></u></p> <p>10月9日～:道路占用、道路使用許可手続き協議開始</p>

		<p>10月22日 第5回エリマネ勉強会+第2回番九クリスマスマルシェ実行委員会</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><エリマネ勉強会></p> <p>「都市のコモニング 私空間を開く、公共空間を私化する」</p> <p>講師：岡部明子（東京大学大学院 新領域創成科学研究科教授）</p> <p><番九クリスマスマルシェ実行委員会></p> <p>準備の最終確認</p> </div> <p>11月5日～：広報開始</p> <p>11月20日 第3回番九クリスマスマルシェ実行委員会</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・実施体制確認 ・（エリマネ協議会準備会の設立に向けた課題と地域との連携の方針づくり） </div>								
	実施段階	<p>11月23日 番九クリスマスマルシェ実施</p> <p>11月25日 第6回エリマネ勉強会</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「将来的なエリアマネジメントに向けて、柏の葉エリアマネジメントに学ぶ」</p> <p>講師：三牧浩也（UDCK 副センター長・実務統括）</p> </div> <p>11月25日～30日：エリアマネジメントガイドラインの作成</p>								
広報活動の内容	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #4a7ebb; color: white;"> <th style="text-align: center;">実施した広報の種類</th> <th style="text-align: center;">広報のターゲット層</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区内掲示板にポスター掲示</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td>イベント特設ホームページに案内</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td>大学の大妻通りの掲示板に掲示</td> <td>大妻通り通行人</td> </tr> </tbody> </table>		実施した広報の種類	広報のターゲット層	区内掲示板にポスター掲示	一般	イベント特設ホームページに案内	一般	大学の大妻通りの掲示板に掲示	大妻通り通行人
実施した広報の種類	広報のターゲット層									
区内掲示板にポスター掲示	一般									
イベント特設ホームページに案内	一般									
大学の大妻通りの掲示板に掲示	大妻通り通行人									

3. 実施状況

書道パフォーマンスの自由なお絵描き



イベント(太鼓演奏)



キッズサンタマーケット



デジタルサイネージ



デジタルゲーム(磯山ゼミ)



遊びの広場(その1)



遊びの広場(その 2)



遊びの広場(その 3)



4. 実施の効果

【参加者の人数】

・イベント当日延べおよそ500人、エリマネ勉強会は毎回約20名程度、ミニシンポジウムは約100名

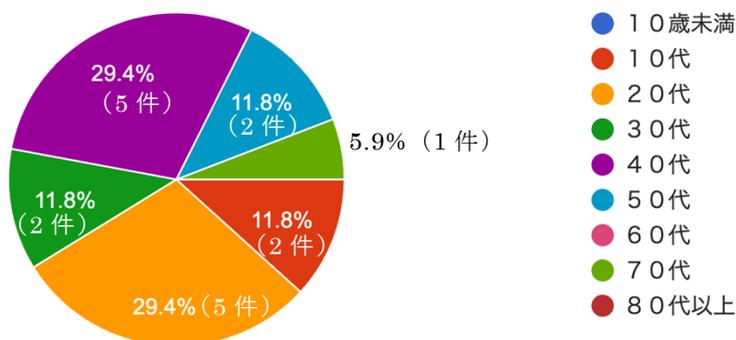
【地域の課題に対する効果】

・マルシェに向けたエリマネ勉強会にて、周辺に立地する開発業者に案内をしたところ、両開発業者ともに担当者の方に途中からご参加いただき、これからの地元町会や区、大学の連携のきっかけづくりとなった。

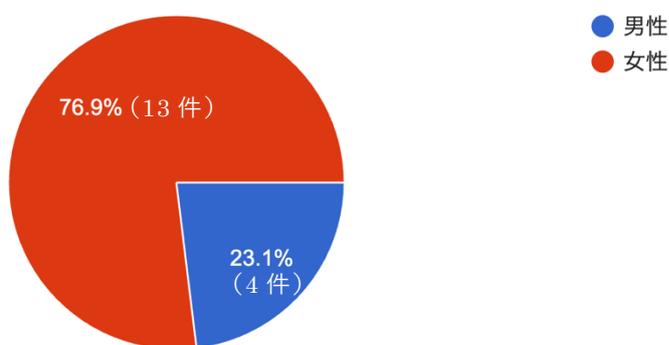
【アンケート等の取り纏め】

・クリスマスマルシェのイベント時のみの案内であるため数が少ないが、結果を以下に記す。

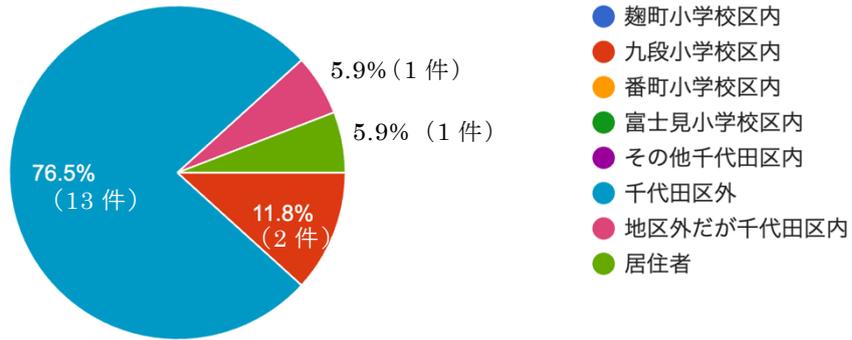
1. あなたの年齢を教えてください。(17件の回答)



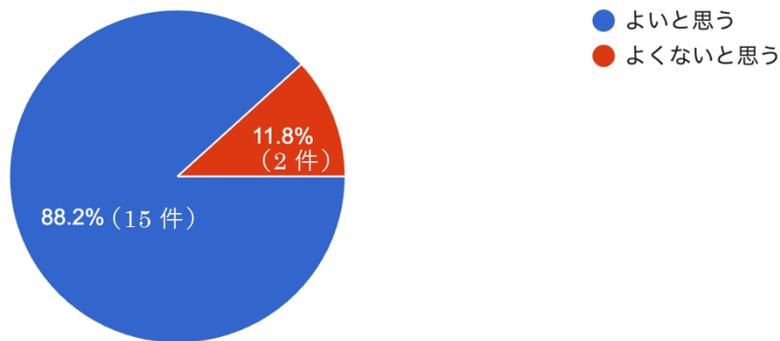
2. よろしかったら性別をお聞かせください。(13件の回答)



3. お住いの学区(学区がわからないときは近い小学校を)(17件の回答)



4. みち(交通量が多くない生活道路)での子どもの遊びについて。(17件の回答)
9割弱がよいと思うという回答であった。

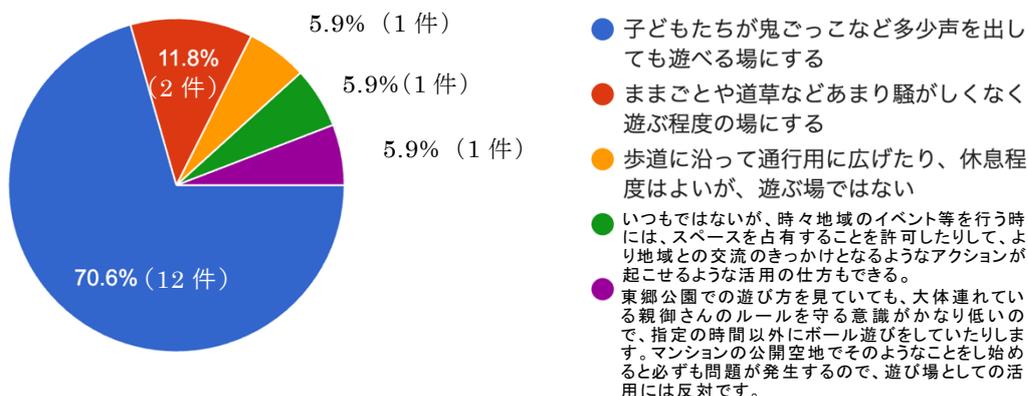


5. 公開空地という言葉と内容を知っていましたか。(17件の回答)
半数は意味や内容を知っていたが、3割弱は言葉及び内容の両方を知らなかった。



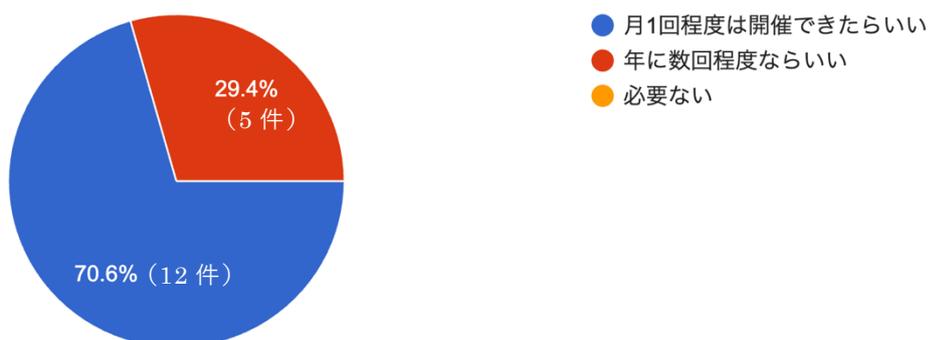
6. ビルやマンションの敷地に設けられた一般公衆が自由に出入りできる空間のことを「公開空地」といい、その分、ビルやマンションは容積を割り増して高く建てることができます(総合設計制度)。公園が少ない当地域において、公開空地を子どもたちに開かれた場にするについて、近い意見はどれでしょうか。(17件の回答)

7割の人が多少声を出しでもいいような子どもの遊び場を望んでいることがわかった。



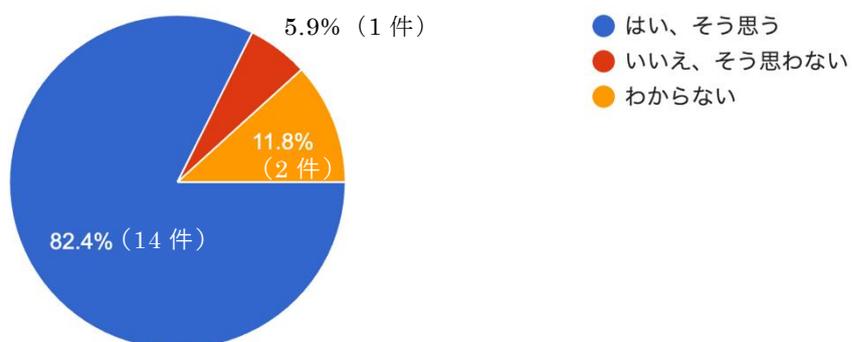
7. みちあそびやマルシェなど、時々催しで道を使って子どもたちが遊び、大人も楽しむような催しを開催することについて。(17件の回答)

すべての意見で今後も開催を希望する選択肢が選ばれたが、そのうち7割の人は月1回の開催を希望していることがわかった。



8. 町会などの組織と他の団体等がつながり、道や公開空地はじめ屋外に子どもや人がもっと出て楽しむための催しを行ったり、まちづくりの方向を考えるエリアマネジメントが当該地でも必要と感じますか？(17件の回答)

8割強の人がエリアマネジメントが必要という意見であった。



5. 実施上の課題

活動を進める 上での課題	企画 段階	スケジュール調整 - イベント開催時期、エリマネ勉強会日程調整
	準備 段階	地域との合意形成 - イベントへの町会等からの協力 管理者との調整 - 道路占用許可 広報の実施 - 区の掲示板ポスターの印刷と提出 実証実験の準備 - 参加団体の確定
	実施 段階	天候: 急な寒波と突風に悩まされた

6. 収支状況

実際の収支状況	<p>【収入概要:82.1万円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 千代田区活動支援金:50万円 ・ 大妻女子大学地域連携プロジェクト:30万円 ・ マルシェ当日寄付金(能登支援へ):2.1万円 <p>【支出概要:82.1万円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プレイスメイキング実証実験事業費:50万円 <ul style="list-style-type: none"> - プレーカー等子どもの広場謝金 15万円 - 勉強会講師謝金 12.1万円 - 暖房器具レンタル 2.3万円 - 消耗品類 13.5万円 - エリアマネジメントガイドライン印刷 7.1万円 ・ 大妻女子大学地域連携プロジェクト:30万円 <ul style="list-style-type: none"> - 警備謝金 5万円 - 暖房器具レンタル 3万円 - 木下ゼミ学生展示材料費 5万円 - 磯山ゼミ学生展示材料費 10万円 - 消耗品類 7万円 ・ 能登支援へ寄付金 2.1万円
---------	--

7. 今後の活動の展望

今後取り組んで いきたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寒い時期の開催の難しさを実感したため、今後は時期を早めた開催としたい。 ・ また、開発業者と地元町会、区、大学コンソーシアム等と協議の場を設けることもしたい。今回、記録として作成したガイドライン(提案、別添)をもとに具体的な将来ビジョンを共有してエリアマネジメントへの足掛かりとする。
-------------------	---

活動を継続的に実施していく上での課題	<ul style="list-style-type: none">・地域の町会や小学校の区域はいくつかに分かれているため、それらが連携をして広い範囲でエリアマネジメントに取り組むには時間がかかる。・そのために、多少のトラブルも、連携づくりのきっかけとして気長に育てていく、いわばまちを育てるという感覚でまずは始めることが重要であり、区もそのような意識で活動を支えていくことが重要である。
--------------------	---